

『米粉パン』



十日町市産の新鮮な野菜や果物、米、漬物やジュースといった食料加工品が並ぶ農産物直売所「四季彩館ベジばーく」。その一角に米粉パン工房

「米(べい)かりー」がある。

食パンやフランスパンをはじめとする約四十種類のパン、約五種類のケーキなど、全商品に「100%地元産」(シヒカリの米粉を使用。パンが焼き上がる時、店頭に並んだそばから「飛びよう」に売れしていく)ほどの人気だ。

直売所内に併設されたベーカリーとして県内初、平成二十一年五月にオープン。店長の小海一弘さんによれば、開店準備を進めていた頃、思いがけない「事件」が起つたと。試作で使っていた米粉のミキサーが故障してしまい、代わりに餅つき機を使つてみたんです。すると、思いのほか、しつとりとしたパン生地ができました。小麦粉よりも水分を含みやすい米粉を餅つき機で「つく」ことで、より彈力性のある生地になった。この怪我の功名とも言えるアイディアから、同店オリジナルの米粉パンは生まれた。

うにもちもちして、米の香ばしさもほんのり香る。旬の野菜や果物を取り入れた季節の調理パンが豊富などころも直売所直営店の強みだ。

地元の食材を介して、多くの生産者や消費者が集まる場に。そんな願いを込めて名づけられた「ベジばーく(ベジタブル・野菜)パーク(公園)」。「パンと言ふと、一般的には女性客が多いのですが、当店では常連客の中に、ごはん好きの男性客も多いんです」。スタッフが知恵を出し合って新商品を開発する米粉パンは、今や市外、県外からも多くのファンが訪れる。



●十日町農業協同組合『四季彩館ベジばーく』
〒948-0055 十日町市高山645
TEL 025-757-1549 FAX 025-757-1579
<http://www.ja-tokamachi.or.jp/>

Contents



表紙の写真はJA羽茂産「おけさ柿」です。

農・商・工をつないで
みんなでつくる新潟の元気!

Sole!にいがた
[秋号] Vol.10
AUTUMN 2012

11

■「おけさ柿の朱鷺めぐオータムサラダ」という名前で、毎年秋になると人気の新潟県信濃町の郷土料理。口に入れると、まず驚くのが「一度食べたら癖になる」という絶妙な食感と甘さ。ごはんのよ

10

JA羽茂産「おけさ柿」のデザートが食べられるお店

新潟運輸株式会社
ホテル吾妻
プチドール
弥彦村

Sole!にいがた応援企業

09

■観光
あのまち・このまち再発見

「弥彦菊まつり」

農事組合法人ふあーむ大地
株式会社ワイエムフーズ
開拓者精神で玉子筋
佐渡の宝物

■リポート
にいがたの明日を担う活力企業
あのまち・このまち再発見

02
地産地消といがた農業の未来
十日町農業協同組合「四季彩館ベジばーく」

■シリーズ特集
地産地消といがた農業の未来
十日町農業協同組合「四季彩館ベジばーく」

01

■卷頭コラム
にいがたモノ語り
『米粉パン』

にいがたの明日を担う活力企業
あのまち・このまち再発見

地産地消といがた農業の未来
十日町農業協同組合「四季彩館ベジばーく」

おけさ柿の朱鷺めぐオータムサラダ

JA羽茂産「おけさ柿」のデザートが食べられるお店

新潟運輸株式会社
ホテル吾妻
プチドール
弥彦村

Sole!にいがた応援企業

「おけさ柿」とは、イタリア語で「太陽」を意味します。「万物を照らす太陽のように、農業・商業・工業をはじめ、新潟のあらゆる産業を元気にしたい」という思いをタイトルに込めました。

※Sole!にいがたのバックナンバーはホームページでご覧いただけます。<http://www.jabank-niigata.or.jp/shinren/> [新潟県信連] 検索